

地域の元気応援プロジェクト 呉海軍グルメの認知向上と 新たな観光資源の造成

0 2 2

張慶在 小林歩夢 村上絵里花

吳海軍鬥北季研究会

地域の元気応援プロジェクト



概要

本プロジェクトの目的は、「呉海軍グルメ」の認知向上 を通じて、呉の新たな観光資源を創出するかつ街の活性化 に貢献することです。

呉の観光は、大和ミュージアムに集中しており、街全体の観光活性化のための周遊型観光の必要性が以前から提起されてきまし。また、観光者からも、周遊型観光の資源並びにモデルに対する要求が高くなりました。

このような需要・供給側のニーズに合う新たな周遊型観光資源として、旧海軍のレシピを再現し呉市の飲食店で提供する新たな企画である「呉海軍グルメ」が2020年から始まりました。地域の元気応援プロジェクトでは、広島大学の研究者・学生と共に、「呉海軍グルメ」の認知向上を考えていきます。



吳海軍**『ルメ研究会**

地域の元気応援プロジェクト

目次

呉海軍グルメとは

地域の元気応援プロジェクト

メンバー紹介

呉海軍グルメ研究会の活動

呉海軍グルメ×地域の元気 応援プロジェクトの活動

> 呉海軍グルメの 可能性と課題

> > 次年度の計画



呉海軍グルメとは

呉市は、戦前は海軍の重要な拠点であり、人口40万人を超える全国的な大都市でした。その発展の礎を築いたのは、1889(明治22)年に設置された「呉鎮守府」であり、「呉海軍工廠」では戦艦「大和」などの軍艦が建造されました。

平成28年4月には、「鎮守府 横須賀・呉・佐世保・ 舞鶴〜日本近代化の躍動を体感できるまち〜」が、日本 遺産に認定されました。

呉海軍グルメ研究会は令和2年2月に発足しました。呉 鎮守府で建造された艦船または呉鎮守府に所属した艦船 で提供された料理および、旧日本海軍から伝わるレシピ に基づき調理された呉ゆかりの料理または商品のことを 「呉海軍グルメ」と称し、現在20店舗が料理・商品を提 供しています。

呉ならではの海軍グルメを提供することにより、呉の 素晴らしさを感じていただき、国内外への観光アピール となるよう事業を実施することを目的としています。

地域の元気応援プロジェクトは、広島大学の学術的な 蓄積や教員・学生等の力を活用し、地域社会が直面する 課題の解決や地域の活性化のために貢献することを目的 とした、広島大学の地域貢献事業です。

これまで、平成14年度から広島大学地域貢献研究を開始し、平成23年度に広島大学地域連携推進事業にリニューアルして実施してきました。

令和元年度からは、新たに「地域の元気応援プロジェクト」をスタートし、地域社会や地域経済の維持や活性化などの様々な課題について、地域社会で課題の解決に取り組んでいる団体から広島大学に対して提案をいただき、そうした課題へ取り組む意向がある広島大学の教員・学生と地域団体との協議の上で、調査・研究活動や実践活動などに取り組むものです。

2022年度には、「呉海軍グルメの認知向上と新たな観 光資源の造成」を含めて11のプロジェクトが採択されま した。

呉海軍**門北水研究会** ×

地域の元気応援プロジェクト

メンバー紹介

呉海軍グルメ研究会×地域の元気応援プロジェクトの メンバーを紹介します。

池田 佳幸

呉海軍グルメ研究会会長 海軍料亭五月荘4代目店主

田井 美樹子

株式会社 SA メディアラボ 月刊くれえばん 編集部

張 慶在

広島大学大学院人間社会科学研究科 准教授

小林 歩夢

広島大学大学院人間社会科学研究科 修士課程

村上 絵里花

広島大学法学部 3年

























呉海軍**『北水研究会** ×

地域の元気応援プロジェクト

海軍グルメ研究会の活動 スタンプラリーとシールラリー



スタンプラリ	2021年2月1日~ 2月28日	3つ集めて応募、抽選で 10人に商品
シールdeラリー	2021年4月20日~ 5月31日	
	2021年7月21日~ 9月30日	
	2021年12月1日~ 2022年2月28日	シール3枚を集めて応募 、「呉海軍グルメ詰め 合わせセット」が当たる
	2022年4月1日~ 6月30日	
	2022年9月1日~ 11月30日	







吳海軍**『北歩研究会**

地域の元気応援プロジェクト

海軍グルメ研究会の活動

マンガ『艦隊のシェフ』とのコラボ



» 『艦隊のシェフ』:2021年10月7日 からモーニング掲載(著者:池田邦彦, 萩原玲二)。2023年3月現在、4巻まで 刊行

» 呉を母港とする駆逐艦「幸風」 (モチーフは雪風)の烹炊兵の物語。 様々な海軍料理が当時のレシピに基づ いて再現されている

» 2022年から呉海軍グルメ研究会との コラボ開始









呉海軍**『ルメ研究会** ×

地域の元気応援プロジェクト

海軍グルメ研究会の活動

4

マンガ『艦隊のシェフ』とのコラボ (作者トークイベント 2022年7月30日)







海軍グルメ研究会の活動

シティロゲ® in 呉(2022.12.18)



» シティロゲ®とは、 CITY ROGAINING を略したもので、広島の一般社団法人〈ITADAKI〉の登録商標

- » ROGAININGは元々アウトドア系のイベントで、スポットを 決めて時間内にたくさんのスポットに チェックインし、それ を点数化して、優勝を決める競技
- » ROGAINING をシティ=都市の中で行うコンセプトでシティロゲ®が提示され、ITADAKI の本社がある広島市近辺、関西から中四国エリアを中心に行われている
- » 2022年12月18日に行われた呉シティロゲ®のテーマに呉海軍グルメが選ばれて、270 人の参加者が20 店舗を回った





呉海軍グルメ×地域の元気 応援プロジェクトの活動

- »「呉海軍グルメ」ツアーの企画支援と分析: 延期(来年度)
- »『艦隊のシェフ』コラボイベント支援 (7月30日)
- » 文化観光論授業(大学院): 「呉海軍グルメ」 認定式参観(10月27日)
- » 店舗インタビュー:冊子化を予定(15店舗実施、10月~2023年1月)
- >> PR動画作成: YouTubeチャンネルに順次アップロード(15店舗実施、10月~2023年1月)
- »『艦隊のシェフ』コラボイベントのポスター・パンフレット制作協力(2023年1月)
- » 広島経済同友会呉支部3月例会で成果発表 (2023年3月7日)



呉海軍グルメ×地域の元気応援 プロジェクトの活動

『艦隊のシェフ』コラボイベント支援 (7月30日)

»7月30日に呉市で行われた土曜夜市に、「呉海軍グルメ研究会」が出店、元気応援プロジェクトの小林が参加し、設営・販売を支援した。大和のラムネ、「呉海軍グルメ」の商品と、雑誌モーニングに掲載中の漫画『艦隊のシェフ』のコラボ商品として、「米国式朝食ハムエッグ&パンケーキサンド」などが販売された。

»午後からは、マンガ『艦隊のシェフ』とのコラボイベントが行われた。原作者のトークイベントがあり、呉海軍グルメのパンケーキサンドを食べていただいた。「おいしい」とおっしゃってくださり、トークイベントの後のサイン会では、多くの方が訪れた。



吳海軍**『北水研究会**

地域の元気応援プロジェクト

呉海軍グルメ×地域の元気応援 プロジェクトの活動



「呉海軍グルメ」認定式参観(10月27日)

»人間社会科学研究科人間総合科学プログラムの「文化観光論」授業(担当:張慶在)の一環として、10月27日に新しい3店舗を対象とする認定式の参観を行った。日本、イラン、インドネシア、中国、台湾出身の21人の学生が受講する国際色豊かな授業である。

» 受講生は、シーサイドカフェ BEACON、海鮮居酒屋はなの舞、海鮮うまいもん 潮家の3店の認定式を参観し、店主並びに認定委員に聞き取りを行った。呉海軍グルメの教育での活用ならびに若い学生に対する認知向上の機会を作った。授業後、受講生にレポートを書いてもらい認定式参観の感想を聞いた。



呉海軍グルメ×地域の元気応援 プロジェクトの活動



呉海軍グルメ店舗インタビュー及び動画作成 (10月~2023年1月)

» 呉海軍グルメを提供する15店舗を対象にインタビューを行い、PR動画を作成した。

» インタビューでは、呉海軍グルメに参加した契機、メニュー選定の理由、再現時の工夫、実際の効果について伺った。今後、冊子化して食べる時には見えない呉海軍グルメの魅力を伝えることを計画している

»動画は、1本3分程度のもので、呉海軍グルメのYouTubeチャンネルに順次アップロード予定です。冊子同様、厨房の様子や料理にまつわるストーリーを紹介することで呉海軍グルメの認知向上をはかる



呉海軍・グルメ

お店探訪#1 海鮮居酒屋はなの舞



呉海軍グルメ×地域の元気応援 プロジェクトの活動

4

『艦隊のシェフ』コラボ企画協力 (2023年1月)

» 呉海軍グルメ研究会では、2023年2月1日から5月31日まで新たにマンガ『艦隊のシェフ』とのコラボシールラリーを開始した。

» 呉海軍グルメ×地域の元気応援プロジェクトの活動の一環として、ポスター・パンフレットの制作の支援・協力を行った。

» また、実際の効果を測ることを通じて、コラボイベント呉海軍グルメの認知向上にどのように貢献するかを検証する予定である。





呉海軍グルメ×地域の元気応援 プロジェクトの活動



広島経済同友会呉市部3月例会での成果発表 (2023年3月7日)

» 広島経済同友会呉市部の3月例会にて呉海軍グルメ×地域の元気応援プロジェクトの活動の一環として成果発表会を行った。当初計画していた呉海軍グルメシンポジウムを、少し形を変えて実施したものである。

» 発表会では、呉市の財界の人を対象に、海軍グルメ専門家の 高森氏、広島大学の槇原副理事、プロジェクトメンバー3人 (張、小林、村上)による発表が行われた。

»まず、高森氏による海軍グルメの意義と歴史の説明が行われ、槇原副理事による呉海軍グルメのブランドとしての可能性と大学と連携することの意味についての発表が続いた。最後に、張・小林・村上が2022年度の活動の成果と今後の課題について報告した。





「呉海軍グルメ」の可能性と課題

» 呉海軍グルメの魅力:呉ならではの、新たな観光資源として非常に高い魅力を持つ。ただし、まだブランドとしての認知度が低いことが課題であり、元気応援プロジェクトでもその点に重点を置いた活動を行った。

»メディア(漫画)とコラボすることの強み:世界観光 機関(UNWTO)は、インターネットメディアを始めと する大衆文化がCultural Affinity(文化的親和性)を生 み出し、利用者に場所・言語・伝統に対する関心を高め る重要な役割をすると強調する。『艦隊のシェフ』との コラボは、文化的親和性を作り、「呉海軍グルメ」の認 知向上かつ観光客増加にもつながる好チャンスになる。

»フードツーリズム×イマジネーション×体験:「呉海軍グルメ」は、真正性・想像力・商品化という3つの要素が組み合わさった非常に独特かつ魅力のある新たな観光資源である。今後、ツアーの実施など体験の要素を入れることで、さらなる魅力の創出ができると考えられる。

» インバウンド誘客の可能性:コロナパンデミックの終熄に伴い、著しいインバウンド観光者の増加が見られる。「呉海軍グルメ」の認知向上は、新たな場所、新たの資源、新たな体験を目指すインバウンド観光者への魅力のある資源になることが考えられる。

次年度の計画

» 前項の可能性と課題に基づき、次年度には実際 の体験型観光商品を作り、効果を測定するモニタ ーツアーを実施することを計画している。

» モニターツアーでは、ただ単に「呉海軍グルメ」を食べることではなく、実際に過去にダイブしたような没入感のあるかつ独特な体験を提供することを考えている。例えば、大正・昭和初期の服装をレンタルし、観光者がその服装を着て街を歩きながら町並みを鑑賞し、当時の食べ物を再現した「呉海軍グルメ」を経験することあんどが考えられる。

»また、周遊型観光のできる仕組みづくりも計画している。最近、各地の神社や城の観光で流行っている御朱印帳の海軍グルメ版を作り、全店舗を回るモチベーションを作ることなどを考えている。



呉海軍グルメの認知向上と 新たな観光資源の造成

編集

張慶在 (広島大学大学院人間社会科学研究科)

Mail

jang@hiroshima-u.ac.jp

呉海軍グルメHP

https://kurekaigun-gourmet.com/

発行

2023年3月30日